

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和2年8月20日
第41号

二学期のスタート！！

毎日、猛暑が続いています。昨日（19日）などは、予報では37度が出ていました。数字を聞いただけでも倒れそうになります。そこで、気分だけでもと思い、この学校だよりのタイトル、小タイトルを涼しい色に変えてみました。いかがでしょうか？

さて、昨日から例年よりも早い二学期がスタート。初日ということで、保護者の方、地域の方が正門前に立ってくださいましたが、立っているだけで汗だくに。そんな中、沢山の荷物を持った子どもたちは、元気に登校してきました。朝から暑さが半端ではない状態なので、暑さ指数も危険基準を超え、外遊びは禁止に！いつもなら体育館を開放するのですが、窓を開けた状態で34度と、こちらまで遊ぶことができません。結局、子どもたちは休憩時間に、教室か図書室で過ごすことになりました。

暑さも気にせず、遊びに熱中する子どもたちなのですが、そのことがかえって危険を招きます。二学期初日から、遊びについては不発に終わった一日でした。

始業式、校長講話

二学期の出発にあたり次のような話をしています。話し言葉で記述しています。

おはようございます。いよいよ早くも二学期が始まりました。始まった以上は頑張らないといけません。

1年間をマラソンに例えてみましょう。マラソンは42.195kmを走るわけですから、二学期は15kmほど走った地点からになります。維新小をスタートして美袋駅まで行き、伯備線の線路沿いに岡山まで走ると約40kmですから、二学期のスタートは総社駅ぐらいになるのでしょうか。15kmを過ぎるころには、だんだん疲れてきて、自分のペースを守って走るのがつらくなってくる頃です。さて、今日は一人のマラソンランナーを紹介します。その方は、今、80歳くらい。しかし、走ることは今でも続けておられます。メキシコオリンピック・マラソン銀メダリストの君原健二さんです。メキシコオリンピックは1968年、今から約50年前にありました。君原さんには、有名な言葉があります。「私は苦しくなると、よくやめたくなるんです。そんなとき、あの街角まで、あの電柱まで、あと100メートルだけ走ろう、そう自分に言い聞かせながら走るんです。」君原さんは、マラソンにこれまで54回出場、途中でやめたことはないそうです。二学期は、一番長い学期だし、行事もいろいろあります。暑さも続くし、コロナウィルスにも気を付けなければいけません。そこで、君原さんの言葉を借りてこう直してみました。「私は苦しくなると、よくやめたくなるんです。そんなとき、まず運動会まで、10月が終わるまで、あと学芸会までは頑張ろう、そう自分に言い聞かせながら勉強するんです。」さて、二学期、時々、苦しい時もあるかもしれませんが、君原さんの言葉を思い出して頑張っていきましょう。小さな目標を立てそれを達成したらまた次と、区切りを入れながら頑張っていきましょう。



熱中症対策をしっかりと！

先日メールでもお知らせしていますが、学校として熱中症対策を次のように考えています。

- 少なくとも21日（金）までは、教職員が児童の下校に同伴する。
（集合場所まで 来週については気候状態を見て）
- 保護者、家族の方の車での帰宅も可。（あらかじめお知らせください）
- その他、以前お示した熱中症対策グッズなどの使用もお考え下さい。